

## 忍野村の給与・定員管理等について

### 1 総括

#### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

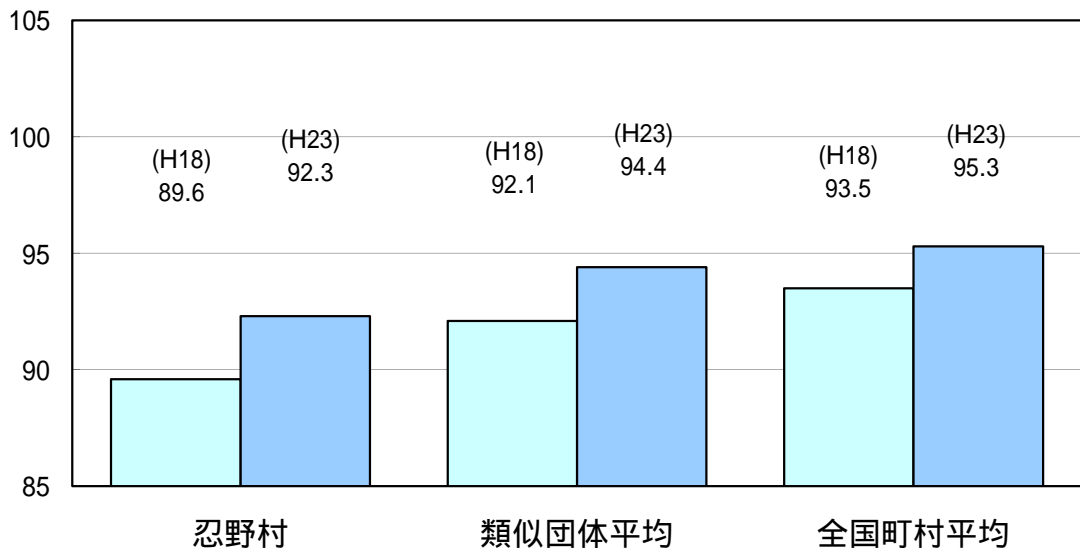
区分	住民基本台帳人口 (22年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 21年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
22年度	8,964	4,883,085	421,825	792,710	16	19

#### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
22年度	106	359,990	48,384	128,730	537,104	5,067	5,567

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
2 職員数は、22年4月1日現在の人数である。

#### (3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。  
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

### 2 一般行政職給料表の状況（平成23年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の 給料月額	135,600円	185,800円	222,900円	261,900円	289,200円	320,600円
最高号給の 給料月額	243,700円	309,200円	356,400円	390,100円	402,500円	424,600円

- (注) 給料月額は、給与抑制措置を行う前のものである。

### 3 職員の平均給与月額、初任給の状況

#### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況 (平成23年4月1日現在)

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
忍野村	43.8 歳	310,382 円	352,799 円	333,016 円
山梨県	43.2 歳	335,675 円	415,536 円	373,791 円
国	42.3 歳	327,205 円	— 円	397,723 円
類似団体	43.3 歳	320,005 円	369,823 円	345,856 円

技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A / B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
忍野村	52.9 歳	12	241,166円	242,748円	245,786円				
うち給食調理員	52.6 歳	6	238,316円	238,650円	238,650円	調理士	44.6歳	257,366円	0.9
うち用務員	54.4 歳	2	244,600円	245,600円	245,600円	用務員	53.8歳	209,066円	1.1
うちその他	53.3 歳	4	243,725円	244,225円	244,225円	調理士	44.6歳	257,366円	0.9
山梨県	49.3 歳	168	334,046円	386,049円	359,815円				
国	49.5 歳	3,689	283,862円	321,662円					
類似団体	48.7 歳	7	277,692円	296,230円	288,237円				

区分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C / D
忍野村			
うち給食調理員	3,791,918円	3,496,600円	1.1
うち用務員	3,897,373円	2,837,300円	1.4
うちその他	3,882,255円	3,496,600円	1.1

民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成20～22年の3ヶ年平均)

技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、23年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。  
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況(23年4月1日現在)

区 分		忍 野 村	山 梨 県	国
一般行政職	大 学 卒	172,200 円	178,800 円	172,200 円
	高 校 卒	140,100 円	144,500 円	140,100 円
技能労務職	高 校 卒	137,200 円	146,700 円	円
	中 学 卒	129,200 円	129,200 円	円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額(23年4月1日現在)

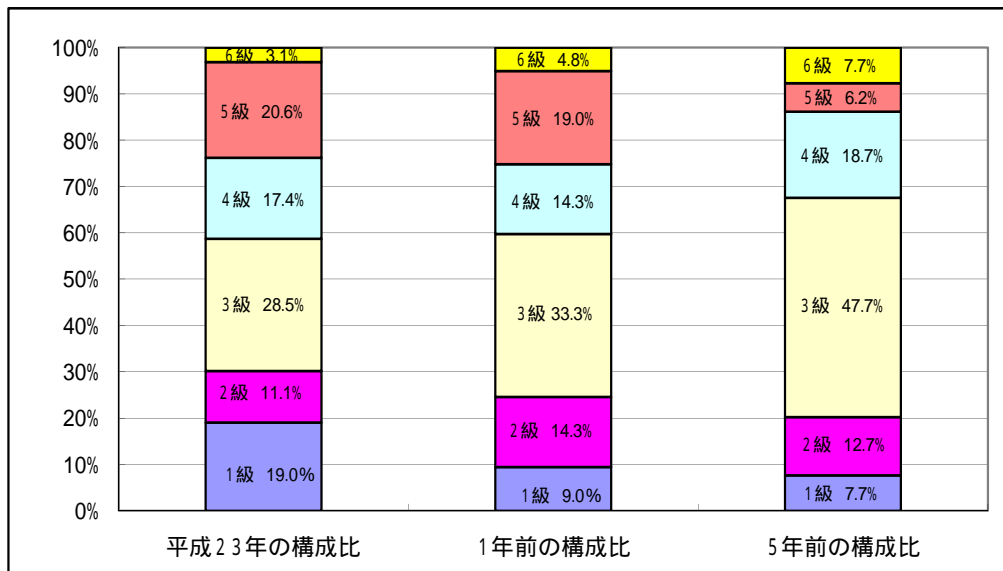
区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大 学 卒	243,600 円	273,400 円	309,300 円
	高 校 卒	203,300 円	242,100 円	290,100 円
技能労務職	高 校 卒	193,200 円	217,700 円	241,200 円
	中 学 卒	181,000 円	196,700 円	221,400 円

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(23年4月1日現在)

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1 級	主事補・主事	12 人	19 %
2 級	主任	7 人	11 %
3 級	主査・係長	18 人	29 %
4 級	課長補佐・所長・主幹	11 人	17 %
5 級	所長・局長・課長	13 人	21 %
6 級	課長	2 人	3 %

- (注) 1 忍野村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

1年間を良好な成績で勤務した場合全員一律としています。

## 5 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当

忍 野 村	山 梨 県	国
1人当たり平均支給額(22年度) 1,397 千円	1人当たり平均支給額(22年度) 1,572 千円	
(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.65 )月分	(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.65 )月分	(22年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 勤勉手当 1.35 月分 ( 1.45 )月分 ( 0.65 )月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%～20% 管理職加算10%～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 役職加算 5%～20% 管理職加算10%～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

### 【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

6月1日及び12月1日を基準日とし、それぞれ基準日に在職する職員に対し基準日以降6か月以内の期間における勤務実績により支給しています。  
なお、人事評価試行中のため、一律の支給を行っています。

### (2) 退職手当(23年4月1日現在)

忍 野 村			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
(退職時特別昇給	無	)	定年前早期退職特例措置(2%～20%加算)		
1人当たり平均支給額	14,431 千円				

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、22年度に退職した職員に支給された平均額である。

### (3) 地域手当

支給実績なし

### (4) 特殊勤務手当(23年4月1日現在)

支給実績(22年度決算)		432 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)		72,000 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合(22年度)		5.4 %	
手当の種類(手当数)		2種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
税務手当	税の賦課徴収の事務に従事する職員	税の賦課徴収事務	月額 6,000円
防疫等作業手当	感染症の防疫に従事する職員	感染症の防疫事務	作業1日当たり 200円

### (5) 時間外勤務手当

支給実績(22年度決算)	16,076 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	186 千円
支給実績(21年度決算)	13,298 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	152 千円

(6) その他の手当 ( 23年4月1日現在 )

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (22年度決算)	支給職員1人当たり 支給年額 (22年度決算)
扶養手当	扶養親族として配偶者、子等を有する職員に支給 配偶者13,000円/月 配偶者以外の扶養親族2人目まで6,000円/月 (配偶者被扶養の場合は1人目6,500円/月) (配偶者がいない場合は1人目11,000円/月) 3人目以降5,000円/月 満16歳年度初めから満22歳年度末までの間にある子1人につき5,000円加算	同じ		8,791 千円	237,500 円
住居手当	居住するための住宅を借り受け、居住し月額12,000円を超える家賃を支払っている職員に支給 家賃の額に応じて最高27,000円/月まで	同じ		1,563 千円	60,000 円
通勤手当	通勤距離が片道2km以上の職員に支給 交通機関利用者 通勤の為に負担している運賃等額に応じ、最高55,000円まで 交通用具使用者 通勤の為、自動車等の使用距離に応じ、2,000円(片道2km～5km未満)から最高20,900円(40km以上)	同じ		1,915 千円	43,500 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員のうち、その職務の特殊性に基づき定められた職にある者に支給 役職に応じ給料月額に8/100から12/100を乗じた額			8,446 千円	469,200 円
宿日直手当	宿日直を命ぜられた職員に支給 1回4,200円	同じ		513 千円	8,400 円
寒冷地手当	11月から翌年3月までの各月の初日に在勤する職員に支給 扶養親族の人数に応じて、年額36,800円～89,000円	同じ		5,344 千円	50,800 円

6 特別職の報酬等の状況（23年4月1日現在）

区 分		給 料		(参考)類似団体における最高/最低額	
給 料	村 長	650,000	円	805,000	円 / 410,000 円
	副 村 長	520,000	円	668,000	円 / 305,000 円
報 酬	議 長	200,000	円	337,000	円 / 198,000 円
	副 議 長	170,000	円	300,000	円 / 155,000 円
	議 員	155,000	円	285,000	円 / 131,000 円
期 末 手 当	村 長 副 村 長	(22年度支給割合) 3.35 月分			
	議 長 副 議 長 議 員	(22年度支給割合) 3.35 月分			
退 職 手 当	村 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)	
	副 村 長	給料月額 × 42/100 × 在職月数	13,104,000	任期毎	
		給料月額 × 25/100 × 在職月数	6,240,000	任期毎	
	備 考				

(注) 1 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=49月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 7 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

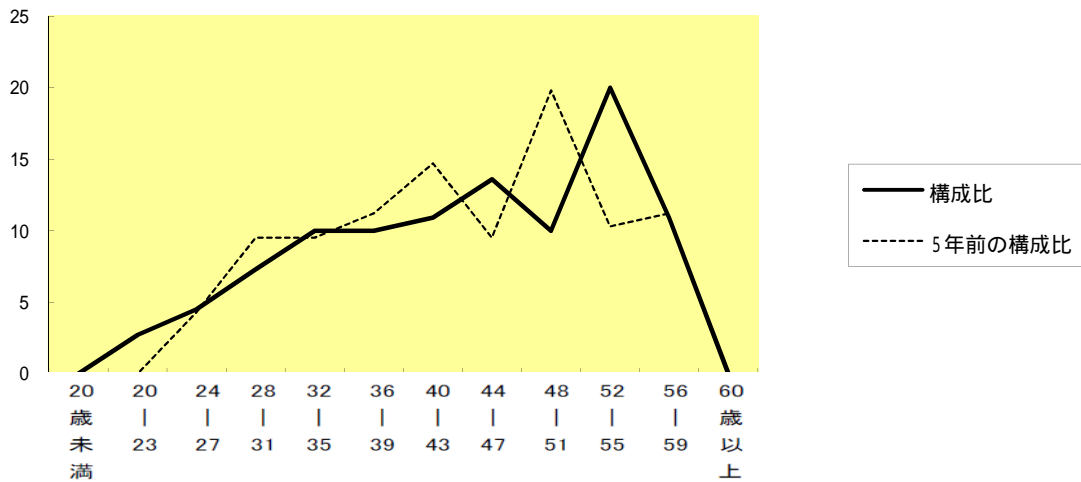
(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由	
		平成22年	平成23年			
普通会計	一般行政	議 会	2	2		退職者不補充
		総 務	17	16	(1)	
		税 務	6	6	0	
		農 水	6	6	0	
		商 工	1	1	0	
		土 木	4	4	0	
		民 生	34	33	(1)	
衛 生	9	9	0			
	計	79	77	(2)		
	教 育	27	26	(1)	退職者不補充	
	小 計	106	103	(3)		
公営企業等	水 道	2	2	0	介護会計職員補充	
	下 水 道	1	1	0		
	そ の 他	2	4	2		
	小 計	5	7	2		
合 計		111	110	(1)		
		[ 124 ]	[ 124 ]	[ 0 ]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

### (2) 年齢別職員構成の状況(23年4月1日現在)

(例) %



区 分	20	20	24	28	32	36	40	44	48	52	56	60	計
	未	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
	満	23	27	31	35	39	43	47	51	55	59	以上	
職員数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	0	3	5	8	11	11	12	15	11	22	12	0	110

### (3) 職員数の推移

(単位:人・%)

年度 部門別	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	過去5年間の 増減数(率)
一般行政	84	82	80	80	79	77	7 (-8.3%)
教 育	30	30	27	28	27	26	4 (-13.3%)
普通会計	114	112	107	108	106	103	11 (-9.6%)
公営企業等会計	5	6	6	6	5	7	2 (40%)
総合計	119	118	113	114	111	110	9 (-7.56%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。